



南部中便り

年間スローガン

平戸市立南部中学校長 村里 靖

やる気

あいさつ

思いやり

Shiny Days

～僕らの想いをひとつに～

文化発表会特集号

～展示発表の部～

去る10月25日(火)、本校体育館にて文化発表会が盛大に開催されました。その日、入口の受付を過ぎ、体育館に入ると、そこは文化の香りあふれる空間と化していました。

整然と並んだ観客席の向こう正面、ステージの奥には、今年のテーマが掲げられています。



右手の壁は、書写作品のコーナー。全校生徒の作品がそれぞれに自己主張をしています。後ろの壁にはスケッチ大会の力作が並び、あふれる個性が見学者の目を引きまします。館内後方には、教科の作品や総合学習の記録、夏休みの自由研究など、思わず足を止めて見入ってしまう展示作品であふれていました。

余興の川柳とともに、作品の感想を記します。

◆ 展示発表の部 ◆

<国語>

全学年「書道」

一画に 思いを込めて 筆運び

これが私の「大洋」(1年)、これが僕の「流れる雲」(2年)と一つ一つが主張しているように感じました。同じ文字なのに、こんなにも個性が出るんだなと思いました。

3年生は好きな一文字かと思ったら、名前の一文字でした。それに込められた思いを知ることができました。みんないい名前をいただいているなあと思いました。

中に、名字のほうを書いていた人もいました。自分の一族に受け継がれる家訓なのでしょう…。



< 3年書写作品 >

<美術作品>

全学年「スケッチ大会作品」

地藏さん 私が見たら こんな顔



<1年 スケッチ作品 >

地藏さんに限らず、対象は同じでも、一人一人の感じ方やとらえ方、表現の仕方はこんなに違うんだと改めておもしろいなと思いました。

同時に、だからこそ、人が互いを心から理解し合うことは、難しいんだろうなと感じました。互いに思いやりの心でコミュニケーションを取らなければと思いました。

<理科>

全学年「自由研究」

おならにも よい出し方が あるらしい

なんて馬鹿な研究をと思いましたが、読んでみると健康な生活のための1つのヒントをもらったような気がしました。

これを研究した彼は、いつも背筋が伸びていて、たくましい身体なのが、なんとなく納得できました。

その他の研究レポートも、身近な疑問について調べてみるなど興味深いものでした。



1年「昆虫スケッチ」

よく見ると ここにも何か 付いている

細かいところまで観察するといろいろなものがついてるなあと思いました。「これは何のためにあるんだろう？」など、考えながら描いたんじゃないかと思います。



2年「周期表」

こんなんで 私の体が できてるの

水素とか炭素とか鉄とかアルミとか…一つ一つはただの物質で、もちろん生きていなんて言えませんが、これらがいろいろたくさんくっついて、自分の体ができていると考えると不思議でなりませんでした。



<家庭>

2年「不要になった衣服のリフォーム」

リフォームで 生まれ変わった お古たち

愛着のあった古着が、リフォームによってますます愛着あるものになったのではと思います。



<技術>

1年「授業作品」

斜めでも 僕には便利な 整理棚

ゆがんだ作品はありませんでした。それぞれ、本やCD、ゲーム機など専用の整理棚をと考えて作ったことと思います。きっとそれぞれの家の、机の上が整理整頓されることでしょう。

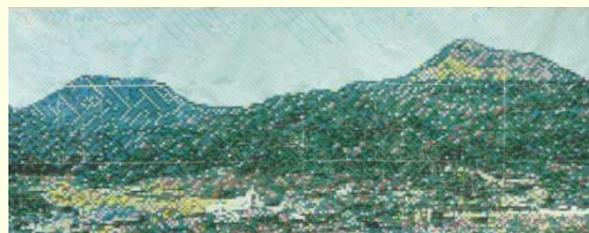


<総合>

1年「モザイクアート」

ぐーっと離れ 薄眼で見れば 超傑作！

失礼な言い方をしましたが、他を圧倒する大作でした。張っている紙片の数は20812枚。一人当たり約800枚の計算です。ホントお疲れさまでした。



<総合>

3年「修学旅行記（新聞）」

もう一度 もどれるならば あの9月

写真入りでわかりやすいだけでなく、本当に楽しかった、考えさせられたという気持ちが表れていました。よい勉強をしてきたなと感心しました。



<総合>

2年「職場体験のまとめ（新聞）」

けだるさも きつさも見せず いらっしゃい!

3日間の短い体験でしたが、どの事業所でも、「あいさつ」「笑顔」「やる気」が大切だと学んだ人、厳しさやきつさはあっても、人の役に立つ喜びがあるから続けられるということに気付いた人が多かったようです。



<数学>

3年2組・2年2組

「3Dジオフィックスによる立体模型」

ペンギンも

サッカーボールも

スケルトン

オットセイもありました。水族館ができたかと思ひながら楽しく見せていただきました。



大きな家 仏像 サッカーボール
かわいいオットセイ
小さなお城 ペンギンの親子

<生単>

3年2組・2年2組

「ドールハウス・鶴の菊」

とりどりの 景色見下ろし 鶴一羽

細かいものを作るのも大変だろうなと思ひながら見させていただきました。（あの花を作りながらイライラしなかったろうか）

また、鳥になって空を飛んで眺めたらこんな感じなのかなと思ひながら見させていただきました。



※ 次号は、開閉会式を含んだステージ発表の様子をお知らせします。